



対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」



標準日程案

日時	日程	シラバス	宿泊先
1	成田/羽田空港 集合 オリエンテーション、渡航説明・健康状態確認	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。また派遣国での安全管理・健康管理について確認する。	ホテル泊
	成田/羽田空港発 → 米国着		
2	AM 【オリエンテーション】	・事業目的、スケジュール詳細の確認。 ・米国の政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、米国理解の一助とする。米国における日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。	ホテル泊
	PM 【表敬訪問】		
3	AM 【学校交流①】	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、米国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。	ホテル泊
	PM 【視察】		
4	AM 【学校交流②】	米国の同世代の青少年に対し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策などについてプレゼンテーションを行い、米国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、米国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。交流を通じ、日本と米国間の友情を育む。	ホテル泊
	PM 【視察】		
5	AM 【企業視察】	企業訪問を通じ、日米企業の違い、民間レベルの経済関係を把握する。	ホテル泊
	PM 【ワークショップ】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、米国関係者に報告する内容をまとめる。	
6	AM 【報告会】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案について、日本国大使館または総領事館や交流学校関係者等に報告する。	ホテル泊
	PM 【視察】		
7	AM 帰国準備		機内泊
	PM 米国発 → 成田/羽田空港着 (翌日到着)		
8	帰国・解散		